

発熱外来用のコンテナを院内から離れた屋外に設置し、
医療関係者のリスクを軽減します。



入手性に配慮した

発熱外来・検査受付用

陰圧 コンテナ



**NIPPON
ENCON**

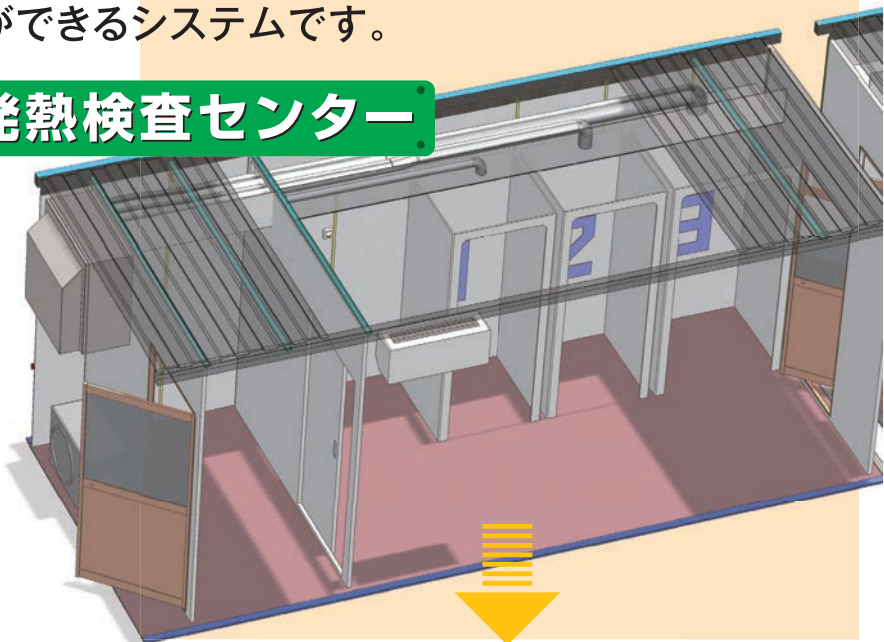
医療関係者の声を取り入れ、安全性と使い易さに配慮した

室内レイアウトやコンテナの組み合わせがアレンジ可能な基本構造のため、状況や用途が変化しても有効活用ができるシステムです。

室内環境に配慮した

基本構造

発熱検査センター



外部構造の特長

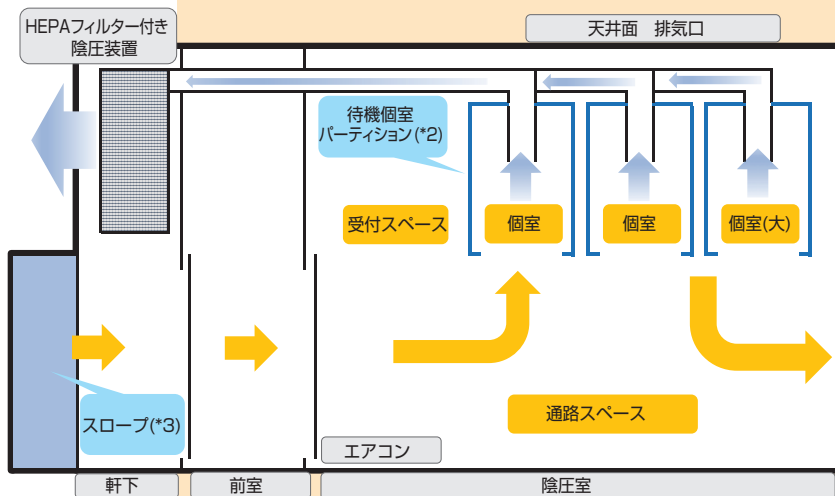
遮熱塗装と断熱層により室内温度を保ちます。HEPAフィルター付き陰圧装置で外部への排気をクリーンにします。



受付 + 患者待機コンテナ

室内の特長

陰圧室を安定させるために前室を備え、エアコンと排気口を最適な位置にレイアウトしています。デジタル表示の微差圧計で誰もが簡単に陰圧かどうかの確認ができます。



車いすにも配慮

バリアフリー

設計

扉寸法や通路等は、車いす用のスペースを確保。段差も少ない構造です。



受付+患者待機コンテナ

*2 オプションの待機個室パーティションを選定ください。

各個室に排気口があり、待機している患者同士で空気が混ざるのを防止しています。

※車いす用の幅の大きい待機個室も選択可。

連絡通路・スロープ

*3 複数コンテナを連結する場合や、スロープを追加の場合は、オプションから連結口、スロープをお選びください。

複数コンテナを導入する場合に、扉付きの連絡通路をオプションで追加できます。車いす等でも利用できるようにスロープの追加も対応可能です。



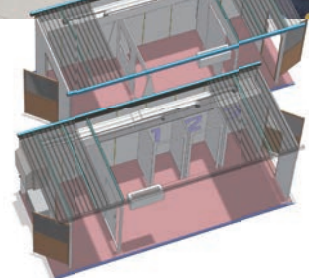
陰圧コンテナ

導入までの

流れ

1 現場調査

敷地面積、勾配、搬入路、コンテナの数量、電源の引き込み個所を確認します。



左のような
並列配置も
可能です。

2 使用するコンテナの選定

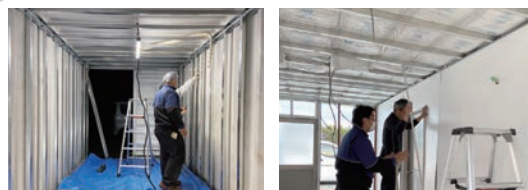
建築用
コンテナ

3 オプションの選定

必要に応じてチェックしてください。☑

- | | |
|--|--|
| ☐ 1 検体採取パーティション | ☒ 4 スロープ |
| ☐ 2 待機個室パーティション | ☐ 5 表示類など |
| ☐ 3 連絡口 | |

4 製作

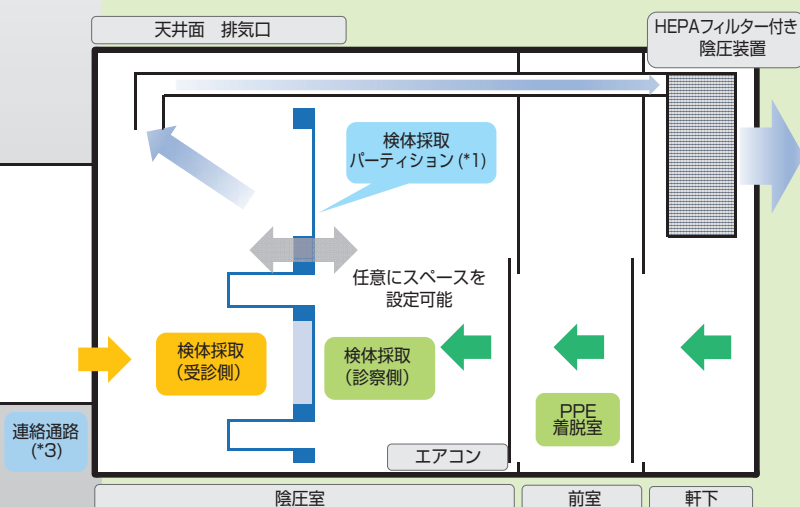


5 搬入・設置



クレーン付きトラックで搬入し、
設置まで対応いたします。

検体採取+PPE着脱コンテナ



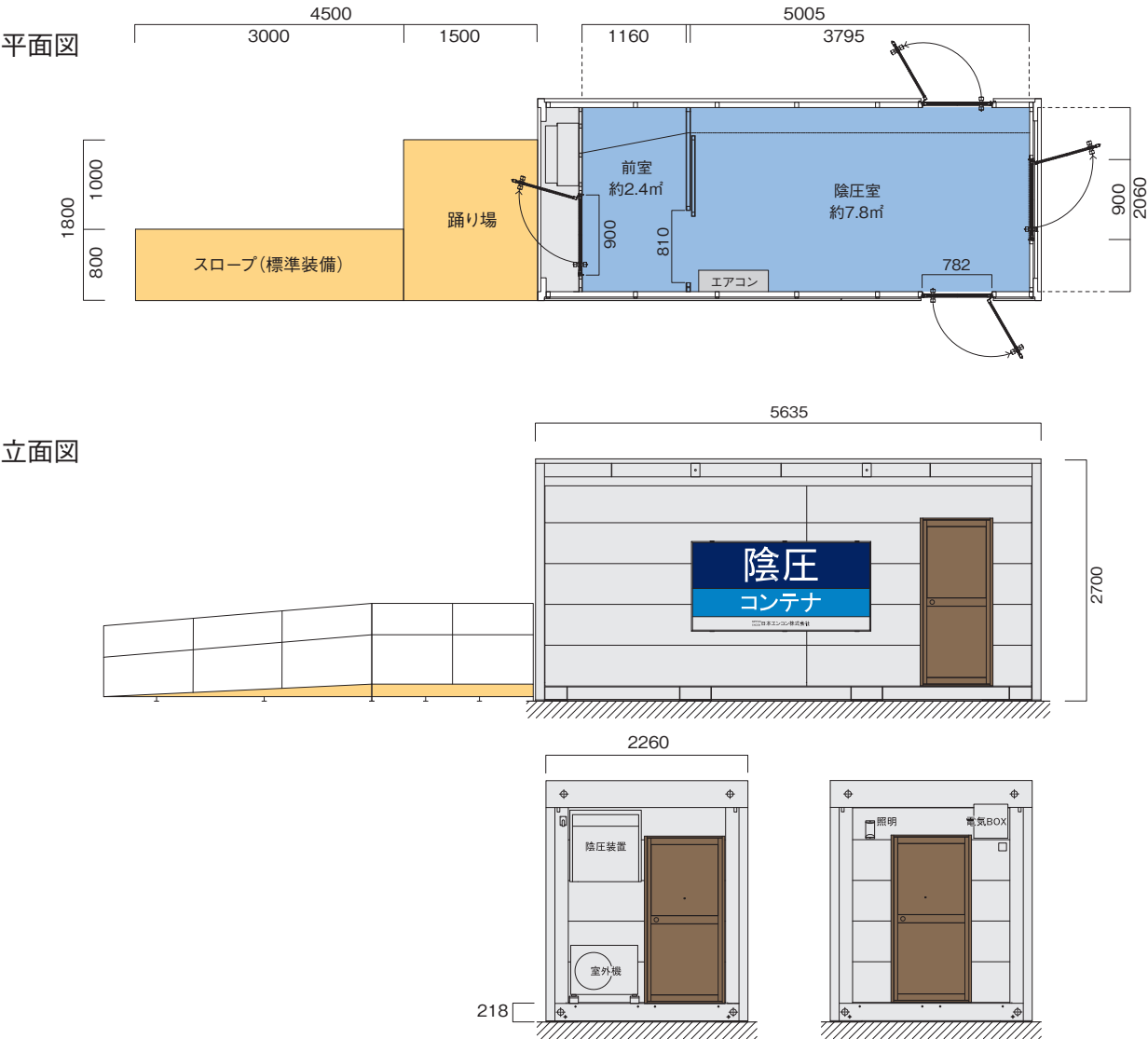
検体採取+PPE 着脱コンテナ

*1 オプションの検体採取パーティションを選定ください。

アクリル窓とグローブボックス用手袋を備えたパーティションで医療従事者の安全に配慮しています。壁ではなくパーティションのため任意の位置に配置できます。アクセス用のドア付きです。



建築用コンテナ標準図



※標準構成内容での図面となります。※単位はmmとなります。

標準機能一覧

■基本寸法

外観寸法	建築用
高さ	約 2.9m
横幅	約 2.4m
長さ	約 6.0m

■換気方式

換気量	10m³/min
換気方式	第三種換気方式※1
室内気圧	-2.5Pa以上を確保※2
汚染空気	HEPAフィルター採用※3
空調	ルームエアコン完備

■電源

1コンテナ40Aの電源を確保。※1
1つのコンテナに最大100Aの電源を設置し、4つのコンテナを連結
させることで最大 4 コンテナ使用可能。

※1：設置場所の電源に依存します。

- ※1：第三種換気方式とは、機械を用いて排気を行う換気方式です。この換気方式では室内が陰圧になる特徴があります。
- ※2：第三種換気方式を用いて室内を-2.5Pa以上に保ち、汚染空気の飛散を防止します。
- ※3：HEPAフィルターとは、通常クリーンルームなどのメインフィルターに採用される汚染空気をこそぎ取ることのできる高性能フィルターです。
- 第三種換気方式にて汚染空気をHEPAフィルターに集め、内部の汚染空気を清潔にして外気へ排気します。